



Face to Face NO.9

特定非営利活動法人 T I C O



生まれたてのこぶたち♡



丈夫な赤ちゃん
を産むために、
しっかり食べな
いと…



お乳に吸い付くこぶたち♡

チベンビ養豚事業の こぶたち♡

チベンビ小規模農村開発ローン事業の1つ、養豚事業。2006年5月に待望のこぶたち♡たちが誕生！3頭のお母さん豚から、全部で22匹産まれました。残念ながら2匹が死んでしまいましたが、他の20匹は順調に成長しています。

2ヶ月ですいぶん大きくなりました



<主な記事>

- ・ チベンビ養豚事業
- ・ TICO にできること
- ・ カルブウェ地区菜園プロジェクト
- ・ チベンビプロジェクト情報
- ・ 平成 18年度TICO定期総会

TICOは保健・医療・農村開発などの分野を中心にアフリカ・ザンビア共和国で支援活動を行っている NGO（非政府組織）です。世界の中の日本を考え、それぞれが自分にできる国際協力を実践していくために 1993 年に任意団体として設立、2004 年 9 月に特定非営利活動法人（NPO 法人）となり活動を続けています。

地球規模の問題に苦しむ人たちの自立支援を共同作業により実施し、そこで学んだ経験と知識を地域の人々と分かち合い、私たちの生活を振り返るとともに地域の精神文化の高揚に寄与することを目的としています。

TICOにできること

吉田 修

TICO はすでに 10 年以上アフリカ、ザンビアで命を救うために何が出来るか模索してきました。特にプロジェクトを持続可能なものにするために、言い換えると TICO が手を引いてもザンビア人自身が継続して運営していけるものにするために、ずっと試行錯誤してきました。持続可能なプロジェクトの条件として幾つか分かってきたことは、

- 1) しっかりしたリーダーがいる
- 2) 運営組織がしっかり形成され積極的である
- 3) 本当に地域住民のニーズに合っている
- 4) 運営経費が小さい
- 5) 行政を巻き込む（ただし当てにし過ぎない）
- 6) プロジェクトに関わることによって人間の尊厳や誇りを取り戻すことができる

Ngombe のコミュニティセンターや救急プロジェクト、WAHE プロジェクトなどがこのような条件をほぼ満たして今後も持続可能と考えています。

しかし、TICO のような小さな NGO には人口 1000 万、国土の面積が日本の 2 倍あるザンビア全体をカバーすることは不可能です。所詮、活動しているところは点と点でしかありません（救急はルサカ市 200 万人が対象ですが）。今後、いかに受益者を増やしていくか、

点の活動をどうやって面に広げていくかが課題かもしれません。

そのためのポイントは、

- 1) ザンビアのコミュニティが模倣可能なプロジェクトモデルを作る
 - * ニーズに合っている
 - * 成果が分かりやすい
 - * 投資が少ない
 - * 適正技術
- 2) ザンビア人リーダーを育てる
- 3) 初期投資の資金を確保する

このような条件を満たすものとして、農村での小規模ローンによる様々なマイクロプロジェクトを実施してきました。幾つかの成功事例が出てきており、大きな可能性を感じています。今後、アグロフォレストリー、小規模灌漑事業と組み合わせ、面への展開を考えて行くつもりです。

TICO が無力でないことはスタッフ一同、自信を持って実感しています。

* 命を救うことにそもそも持続可能性を考慮する必要があるのかという議論もある

遅ればせながら帰国のご挨拶に代えて

井形 和枝（さくら診療所 管理栄養士）

『危機的な食料不足の状態は終息に向かい、重度の栄養失調児も一時期に比べるとたいぶ減ってきているようにみえるが、食糧配給は現在も続けられている。』

さて、食糧配給を行っていたある日のこと。配給場所に数人のばあちゃんがカルバス（ひょうたん）で作ったボールを持って座っている。配給の対象は 5 歳以下で栄養失調と判断された子どもで、双子や孤児の子にも配給が行われる。しかし、どうみても、孫を連れてきた風でもないこのばあちゃんたち。何をしに来たのかと思うと、実は配給のおこぼれを貰えるのを待っていたのだ。1 人にあげだすとキリがない。ばあちゃんたちには悪いけれど、あげることはできない。何度説明してもがんと動こうとしないばあちゃんたち。

…と、配給を受けたお母さんの 1 人が自分の分を少し取り出すと、ばあちゃんのカルバスに無言で入れる。そして何もなかったかのように帰っていく。ばあちゃんたちは嬉しそうにニコニコするが、ありがとうなんて言わない。その後も数人のお母さんが同じように自分の分をばあちゃんたちに分けていったのだ。あまりに自然なお母さんたちの行動。それに比べて自分は、ばあちゃんたちを“うっとおしいなあ”とは思っても、1 握りさえもあげようとはしなかった。

“持つ者は持たざる者に与えよ”。イスラムの精神。持つ者はあげて当然、持たない者はもらって当然、の文化を改めて感じるとともに、未だにこの文化に染まり切れていない自分を感じた。』

まだ、私が青年海外協力隊として、ニジェールにいた頃のこと。2004 年 4 月にニジェールに赴任して以来、毎月のようにニジェール通信なるものを発行していたが、2006 年 2 月に発行したニジェール通信第 23 号に、私はこんなことを書いていた。

2 年もいて、なのか、たった 2 年なのかは分からない。けれど、2 年。決して短い時間ではない。現地語もそれなりに覚え、ニジェール人のことを少しは理解したつもりだった帰国間際。しかし、このばあちゃんたちとお母さんたちのやりとりを見た時に感じたのは、未だに私はニジェールのことを何も分かっていないな、ということだった。全く考え方も、文化も習慣も異なる国のこと、そこに住む人のことを分かろうとするのは難しい。そう思うと 2 年は短いのかも知れない。

TICO はもう 10 年以上、正確にはザンビアと付き合いあって今年で 13 年になる。私は TICO やザンビアと関わってまだ 7 年。この間ニジェールに行ったりもしているから、ザンビアとがっつり正面から向き合っている時間はまだまだ少ない。それでも、TICO の活動を通じて、継続は力なり、という言葉は本当だなあ、と実感できたし、これからも、TICO やザンビアと関わっていきたいと思っている。

遅ればせながら、井形、無事にニジェールより帰国しました。非力ではありますが、ニジェールでの経験を生かしながら、TICO の活動の一端を支えて行けたらと思っておりますので、宜しくお願い致します。

WAHE プロジェクト通信

WAHE (ワヘ) とは？

Water(水)、Agriculture(農業)、Health(健康)、Education(教育)の領域をカバーしながら農村の生活水準向上を狙う TICO のプロジェクト。TICO は 2002 年ザンビア南部州にて飢餓緊急援助を行なったがそこで得た教訓とは「緊急援助の限界」と「飢餓をなくす為には農村に根本的対策が必要」との認識だった。いくつかの候補地から安全性や信頼できるパートナーの存在等の観点から支援地域をチペンビとカルブウェに決定した。



ザンビア共和国

TICO ザンビア事務所 西口三千恵

Chipembi

中央州チペンビ地区

中央州カルブウェ地区

Karubwe

カルブウェ

菜園プロジェクト

灌漑設備のパイプの穴が詰まった！？農具が紛失！？ミーティングの出席率が高いのに、畑仕事の出席率は低い！？色々なことが、次々に起きている。

5月5日(金)

ワークショップのテーマはアグロフォレストリー。来週水曜日に JICA・PaViDIA (孤立地域参加型村落開発計画)の研修を予定しており、その予習になる。



畑は玉ねぎの植え替え終了。キャベツ、ピーマン、ジャガイモなど、順調。ドリップイリゲーション(灌漑設備)のパイプの穴が目詰まりが目立つ。メンバーが針金で作った道具でこまめに掃除をすることに。

5月10日(水)



カルブウェメンバー、PaViDIA デモファームを見学。メンバーは活発に質問をしており、色々なことを学んだ様子。

5月12日(金)

これまでの日本人ユニットの売り上げ約 170 万クワチャ(約 5 万 5 千円)をグループに還元。売り上げの多さにメンバーは皆びっくりの様子。



5月19日(金)

菜園視察。メンバー6人が畑で作業中。ジャガイモ、玉ねぎ、キャベツなどが順調に育っている。リーダーのケニスに、PaViDIA の経験をどのように菜園に生かしていくか、メンバーで話し合ってみることを提案。

5月26日(金)

ミーティングの時は、椅子の数が少ないため、いつも床に座っていた女性たち。今日は、田淵先生がワークショップのために持参した椅子があり、それに座ることができた。冷たい床に座らなくていいように、女性用の椅子を工面したい。



6月9日(金)

1 時間遅れでミーティング開始。以前は 2 時間遅れが普通だったことを考えると改善された。メンバーの出席率も高い。一方、畑は玉ねぎは順調だがトマトが枯れかけている。水が染み出すパイプの穴が詰まっているため、水が十分に行き渡っていない様子。



6月23日(金)

菜園が雑草だらけ。どうやら農具が紛失して作業が滞っている様子。また、日本人向けの野菜を作るユニットでの作業が多すぎると不満の声も聞かれた。日本人ユ

ニットの売り上げは相当な額。彼らのやる気が高まればと、全額を彼らに渡していたが、彼らの考え方が違う方向に向いている様子。

6月30日(金)

ミーティングの出席率が高いが、畑仕事をしているメンバーが少なく、ダレ気味。皆でやる気を出して頑張るためにはどうしたらよいか、話し合う。



チペンビ

・農村開発ローン



小規模農村開発ローン

養鶏から転身のカサカタックショップが順調。牛肉販売は怪しげな雰囲気になってきた…?

5月3日(水)

カサカ・タックショップ。ついに養鶏グループがタックショップを始めることに。本日は事前ワークショップ最終日。出席率も高い。来週ルサカに買い付け。



カリケンカ・タックショップ。先週のPaViDIAでの研修後、初めてのミーティング。にもかかわらず来ているのはたった1人。彼らはやる気があるのか?

5月5日(水)

カリケンカ。PaViDIAでの研修で得た知識を共有するためのワークショップを開催。ビジネスマネージメントについて学ぶ。

5月11日(木)

養豚。ついに7匹の子豚が誕生。元気に育っており、販売に向けて動きだす必要がある。

カサカ。昨日買出しをした商品を早速陳列。早ければ、今日中に店がオープンできる予定。

5月15日(月)～17日(水)

牛肉販売。ワークショップ開催。3日間に渡り、ビジネスマネージメントを学ぶ。リーダーの女性が病気の家族の看病で、3日間とも出席できなかったのが気がかり。

5月17日(水)

養豚。先週に引き続き、残りの2匹の豚も出産。子豚は半年ここで育てて、大人になってから販売する。今後が楽しみ。



本日から第2回のワークショップ。前回の噂を聞きつけ、多くの人が参加していた。

カサカ。品物がきちんと整理されて並べられ、値段の表示もきちんとされている。うまく営業を続けてほしい。



チティベ・古着販売。崩壊した店の修理は進んでいるようだが、無人。店の先行きに不安。

5月31日(水)

養豚。一匹も死ぬことなく順調に成長している。豚の飼料にベルベットピーズを混ぜると、成長が良いとのこと。アグロフォレストリーで大量に出来ているピーズが使えるかも?



カサカ。順調に営業中。店の中もきれいに整頓され、商品も豊富。客足も順調の様子。



チティベ。店は今日も無人。店の先行きに不安。

6月7日(水)

養豚。子豚たちは順調に成長。豚の飼料にベルベットピーズを取り入れることが決まる。

カサカ。営業は順調。店番もメンバーが交代で行っている。

カリケンカ。先週がローン返済日だったが、待って欲しいといわれ、再度訪問。しかし、今日もお金が集まらず、結局返済日を6月末に延期。

チティベ。なんと、メンバーの女性2人が店の壁の補強工事をしている。頼んでいた職人がちっとも働いてくれないとのこと。



6月14日(水)

養豚。ついにオス豚を購入！ところが、ルサカから運ぶ途中に 2 回も豚がトラックから落ちたらしい。オス豚のずさんな扱いに唖然。子豚も一匹死亡。事業の先行きにやや不安。



カサカ。今日も当番の女性がきちんと店番。メンバー全員が平等に仕事をしている。

牛肉販売。購入できる牛がなかなか見つからない。牛の購入先については、出資前に何度も確認したはずなのに…。

6月27日(火)

カサカ。営業順調。品揃え豊富。買出しもメンバーが順番にしているとのこと。



牛肉販売。メンバーが牛の値段が高く、良い牛が見つからないので、古着販売をやりたいと言い始めた。ローンは牛肉販売をやるためのもので、途中で変更はできない。

ローン出資前の計画段階で、何度も念押しした時は、大丈夫と自信たっぷりだったのに。やる気がないのなら、牛肉販売はやめたほうが良いと伝える。

養豚。怪我をしていたオス豚は回復。子豚は 2 匹死んでしまったが、他の子豚たちは順調。



チティベ。壁の修理はほぼ完了した様子だが、メンバーの姿は今日も見当たらず。この先どうなるのか、不安。

アグロフォレストリー

今後のアグロフォレストリー事業の方向性や、助成金獲得のための調査やミーティングが続く。

5月3日(水)

クムウェンダ氏、ナマスモ氏とミーティング。今年は緑肥作物の種類を多くし、家畜飼育と組み合わせた方向でプロジェクトを行うことで合意。来週には、養豚メンバーを交え、全員でワークショップ形式で話を詰める予定。

5月11日(木)

先週に引き続き、畜産を組み入れたアグロフォレストリーの可能性についてミーティング。まず、アグロフォレストリーに参加表明をしている農民を訪ね彼らの現状を調べることに。



5月17日(水)

先週のワークショップをもとに、参加農民へのアンケート用紙を作成。来週村を訪問する予定。

5月23日(火)～25日(木)

助成金獲得を目指し、まずは農民の農業に関する実情を調べるため、3ヶ所の村を3日間かけて回った。各村20人にアンケートを実施。その後村の概観を把握するため、農民たちに地図を作成してもらった。



同じチペンビ地区の農民とはいえ、一人一人、また村によってその実情がまったく異なることが分かった。

6月7日(水)

先日のアンケート結果を踏まえながら、養豚メンバーも交えてのミーティング。農民の個々の状況に合わせて、アグロフォレストリー作物を導入していくことで合意。助成金の結果が出るまでや、助成金が取れた場合の活動についても協議。

6月14日(水)

助成金獲得に向け、再度ミーティング。3年の活動計画を練る。メンバーからは様々なアイディアがでるが、予算やメンバーの能力も考慮し、慎重に計画を作っていきたい。

6月27日(火)

助成金申請が締め切り間近。話を詰め、金曜日には申請書を送る予定。



北島中学校へ講師派遣

6月21日(水)と7月12日(水)に、北島中学校へ講師派遣を実施。1年生の2クラスで、貿易ゲームとザンビア版人生ゲームが行われました。貿易ゲームをやったクラスでは、7グループに別れ、各グループが1つの国として、不平等に与えられた資源(紙)や技術(はさみ、じょうぎ、えんぴつなど)を使って、自国の財政を豊かにするために各国間で貿易を展開。資源や技術の豊かな国がどんどんお金を蓄えていく一方、資源や技術の乏しい国がいかにかんばってもお金を蓄えていくことが難しいという、現実起こっている世界貿易の問題をゲームを通して体験しました。



カルブウェ 保健案件・教育案件形成調査開始

2003年から開始したWAHEプロジェクトは、これまでにW(Water:水)とA(Agriculture:農業)の分野を中心に、カルブウェとチベンビで活動が行われてきました。そして、残るH(Health:保健)とE(Education:教育)のプロジェクトを立ち上げるための調査が、保健案件は5月から、教育案件については6月から開始されました。保健案件については、すでに形ができ上がり、助成金申請中です。



保健案件形成のためのワークショップを行っている田淵さん

教育案件は現在、TICOの江橋さんによって、調査が続けられています。農業、保健分野とのバランスを考えながら、WAHEプロジェクトとして最大限の効果を生むことができるよう、ザンビア教育省や、JICAの教育分野の専門家など様々な方から意見を聞きながら、情報収集が続けられています。



カルブウェから約6kmの所にある小学校。教師も教室も机もイスもノートも鉛筆も、何もかもが不足している。

海外技術研修員受け入れ

TICOの救急プロジェクトでも関わりの深い、ザンビア警察救急救助隊のカチョファ氏が、2006年10月～2007年3月までの6ヶ月間、技術研修を受けに徳島に来ることが決まりました。これは、徳島県の国際協力県民パートナー事業の一環である海外技術研修員受け入れ制度を利用したものです。この6ヶ月間、カチョファ氏は、県内外の様々な機関で日本の救急医療を学ぶ他、地球人カレッジでの講演や、中学校や高校における総合学習への参加も予定されており、地域の皆様とお会いする機会も多いかと思います。

2006年夏 TICOスタディーツアー 6月30日で締め切りました!

2006年6月末でスタディーツアーの募集が締め切られました。今年は4名の方が、8月7日～8月15日までの9日間、ザンビアを訪れます。ツアー中は、カルブウェ地区菜園プロジェクト視察、農村でホームステイ体験、チベンビ地区小規模農村開発ローン事業視察、ルサカ市ンゴンベ地区民生改善プロジェクト視察、救急プロジェクト視察などのTICOのプロジェクト視察の他、JICA-PhC事業視察、また、ツアーの最後には、世界三大瀑布であるリビングストンのビクトリアの滝観光も予定されております。スタディーツアーの様子は、次号でご紹介する予定です。お楽しみに。

平成 18 年度 TICO 総会実施

平成 18 年 5 月 20 日 18 時 30 分より、平成 18 年度の T I C O 総会が実施されました。開会宣言、体表挨拶に続き、福土事務局長が議長に選出されました。議事が読み上げられ、平成 17 年度の事業報告と収支計算書、平成 18 年度の活動計画と予算案が承認されました（収支計算書は右の通り）。また、役員が改選され、監事が田中直康さんから河合栄枝さんになりました。



TICO 国内活動

（2006 年 5 月 1 日～6 月 30 日）

< 2006 年 5 月 >

- 16 日 木屋平中学校国際理解講座へ講師派遣（吉田修代表）
- 20 日 平成 18 年度 T I C O 総会
地球人カレッジ「世界で一番命の短い国ザンビア」（五十嵐久美子さん）

< 2006 年 6 月 >

- 1 日 スタディーツアーの募集開始
- 13 日 木屋平中学校国際理解講座へ講師派遣（吉田修代表、井形和枝会員）
- 14 日 田淵幸一郎さんザンビアより帰国
- 17 日 地球人カレッジ「イスラム世界初体験！～青年海外協力隊で行ったニジェール～」（井形和枝会員）
- 21 日 北島中学校へ講師派遣（吉田修代表、福土庸二事務局長、井形和枝会員）
- 25 日 田淵幸一郎さん事務局訪問
- 26 日 日本外国語専門学校へ講師派遣（井形和枝会員）
- 27 日 徳島大学講義（吉田修代表）
- 28 日 ジャパンプラットホームのジャワ島地震調査のためインドネシアへ医師派遣（田淵俊次会員）
- 30 日 スタディーツアー募集締切

平成 17 年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成 17 年 4 月 1 日から平成 18 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 T I C O

科 目	金 額	(単位：円)
(資金収支の部)		
I 経常収入の部		
1 会費収入	1,572,000	1,572,000
2 特定非営利活動に係る事業収入		
・生活向上の機会を著しく奪われている人々の問題解決への協力事業	328,160	
(①民生改善事業)	(0)	
(②ルサカ市救急救隊整備計画)	(0)	
(③早魃に強い村作り・チベンビ地区)	(197,960)	
(④早魃に強い村作り・カルブウエ地区)	(3,812)	
(⑤スリランカ新規案件調査)	(0)	
(⑥ザンビア事務所運営)	(126,388)	
・会報及び出版物の発行	0	
・国内での開発教育に関する事業	71,692	
(①徳島県内外の学校、講演会、セミナー等への講師派遣)	(71,692)	
(②地球市民教育勉強会「地球人カレッジ」の開催)	(0)	
(③スタディーツアー)	(0)	
・他の市民活動を行う団体に対する連絡、相談、助言等の事業	0	399,852
3 助成金収入	2,323,685	2,323,685
4 寄附金等収入		
・国内寄付金	5,086,887	
・海外寄付金	2,365,301	7,452,188
5 雑収入		
・為替差益	371,435	
・その他雑収入	164,309	535,744
経常収入合計		12,283,469
II 経常支出の部		
1 特定非営利活動に係る事業費		
・生活向上の機会を著しく奪われている人々の問題解決への協力事業	10,231,078	
(①民生改善事業)	(472,799)	
(②ルサカ市救急救隊整備計画)	(2,538,629)	
(③早魃に強い村作り・チベンビ地区)	(1,755,397)	
(④早魃に強い村作り・カルブウエ地区)	(4,598,686)	
(⑤スリランカ新規案件調査)	(206,903)	
(⑥ザンビア事務所運営)	(658,664)	
・会報及び出版物の発行	81,430	
・国内での開発教育に関する事業	130,450	
(①徳島県内外の学校、講演会、セミナー等への講師派遣)	(0)	
(②地球市民教育勉強会「地球人カレッジ」の開催)	(130,450)	
(③スタディーツアー)	(0)	
・他の市民活動を行う団体に対する連絡、相談、助言等の事業	0	10,442,958
2 管理費		
・旅費交通費	991,676	
・郵送料	21,748	
・荷造り運賃	0	
・消耗品費	0	
・研修費	80,800	
・保険料	338,720	
・支払い手数料	24,920	
・会議費	0	
・人件費	1,206,000	
・図書・資料費	0	
・支援・連携・協力事業費	6,500	
・雑費	10,000	2,680,364
経常支出合計		13,123,322
経常収支差額		-839,853
III その他資金収入の部		
1 固定資産売却収入	0	
その他資金収入合計		0
IV その他資金支出の部		
1 固定資産取得支出	0	
その他資金支出合計		0
当期収支差額		-839,853
前期繰越収支差額		6,755,025
その他の事業会計からの繰り入れ		0
次期繰越収支差額		5,915,172

ありがとうございました（敬称略）

★寄付をくださった方々★

岸本正明 谷口正弘 山川げんき市 さくら診療所
募金箱 唐住洲子 入交秋子 西尾正己 ヒラオカ
薬局 吉田修 関谷晴孝 河合龍男 佐藤理恵子
大東自動車 井形和枝 秋月忠助 田中純子

★会費を継続して払ってくださった方々★

伊勢英利 河合龍男 神田隆子 工藤敏信 本庄敬
斎藤陽子 瀧浩樹 株式会社幸耀西部営業所 関谷
晴孝 唐住洲子 大垣光治 新居智次・和世

★新たに会員になってくださった方々★

高橋亮太 佐藤久卓 田淵元樹

（2006年5月1日から6月30日までの事務局
入金分：順不同）

※お名前を非公開にされたい場合はTICOまでご
連絡ください。

地球人カレッジ報告

世界で一番 命の短い国 ザンビア

（5月20日）

JICA 専門家としてザンビアに4年半派遣されてい
た、五十嵐久美子さん。ザンビア医療の現状や、五十
嵐さんが関わってきた地域保健プロジェクトについて
分かりやすく説明して頂きました。



イスラム世界初体験！

～青年海外協力隊で行ったニジェール～

（6月17日）

青年海外協力隊として2年間ニジェールに派遣さ
れていた井形和枝さん。前半の異文化理解ゲームや、
後半のニジェールの話を通して、ニジェールでの、異
文化体験について話して頂きました。

【TICO への入会方法】

会員となって資金面から TICO の活動をサポート
して下さるかたを募集しています。入会ご希望の方
は郵便振替用紙に所定の年会費を納入して下さい。イ
ンターネットの TICO ホームページからも入会申し
込みが可能です。会員の方には TICO ニュースレター
『Face to Face』を毎月送付いたします。

【正会員】 12,000 円

【賛助会員】 個人：12,000 円 学生：6,000 円
団体：15,000 円

（通常は賛助会員でのご入会をお願いしています。総会での議決権
を持つ正会員を希望される方は事前にご連絡下さい）

振込先：郵便振替口座 01640-6-37649

振込先加入者名：TICO

Eメールアドレスをお知らせいただいた方にはT
ICOの各種イベント情報をメールにてご連絡申し
上げます。

TICOの活動は皆様からの会費やご寄付によっ
て支えられています。会費の納入がお済みでない会員
の方は、納入下さいますようお願いいたします。なお、郵
便口座からの「年会費自動引き落とし」もご利用いた
だけます。事務作業軽減のためにも、ご協力お願いい
たします。

お知らせ

●講師派遣

TICO では学校の総合学習の時間などでの国際
理解教育、開発教育の講師派遣をおこなっていま
す。お問い合わせはTICO事務局まで。

●ご寄付のお願い

気が向いたときに少しでも寄付したいという
方は、下記の口座で寄付を受け付けています。あ
なたの想いを必ずザンビアまで届けます。

TICOホームページで TICO からの最新情報を
ご覧いただけます！！

<http://www.nmt.ne.jp/~zikomo/>

募金のお願い

TICOのザンビア支援活動は皆様からの寄付金や会費により支えられています
（事務局の作業軽減のため領収書は発行していません。必要な方はお申し出下さい）

郵便振替口座：01640-6-37649 振込先加入者名：TICO

四国銀行 山川支店（店番号344）普通預金 0199692
特定非営利活動法人TICO 代表理事 吉田修（トクヒ テイコ）

TICO ニュースレター Face to Face 第9号 2006年7月発行

発行人：吉田 修 編集担当：福士 庸二

【TICO 事務局連絡先】

〒779-3403 徳島県吉野川市山川町前川 212-6 電話：090-7786-3193 / FAX：0883-42-5527

TICO ホームページ：<http://www.nmt.ne.jp/~zikomo/> e-mail：zikomo@nmt.ne.jp